

## カラーコーディネーター検定試験の全面改訂についてのご案内

### 1 色を取り巻く環境

カラーコーディネーター検定試験は、東商初の企画検定として1995年にスタートし、これまでに、57万人の方々に受験機会を提供し、延べ25万人の合格者を輩出しています。

昨今、人口構成の変化や、IT技術の急進、グローバル化の促進など、社会を取り巻く環境が大きく変化しており、色を取り巻く環境においても、色の専門知識だけではなく、デザイン、イメージ、プレゼンテーションまで含めた、総合的なコーディネート能力が求められています。

こうした変化を踏まえ、今回全面改訂するカラーコーディネーター検定試験は、色の基本ルールを理解し、様々なビジネスシーンで、活用、提案ができる人材を育てることを目的として、スタンダードクラス（色の表現方法など、基礎知識を理解していること）とアドバンスクラス（色の基礎知識をもとに、様々な現場で必要とされる知識・技能を発揮できること）の2クラスを設定しました。

### 2 全面改訂後の試験概要 **(2020年6月)**の試験からとなります

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) クラス   | スタンダードクラスとアドバンスクラスの2つ<br>受験資格に制限はありません。アドバンスからの受験やスタンダードとアドバンスの併願受験も可能です。 |
| (2) 試験日   | 6月と12月（予定）  |
| (3) 受験料   | スタンダード 5,000円（税抜） アドバンス 7,000円（税抜）  |
| (4) テキスト代 | 未定 ※新テキストは2019年11月頃に発刊予定  |
| (5) 出題範囲  | 公式テキストに準拠して出題   |
| (6) 合格基準  | スタンダード、アドバンスとも100点満点とし70点以上で合格  |
| (7) 試験時間  | スタンダード 10時～（制限時間2時間）<br>アドバンス 13時30分～（制限時間2時間）<br>出題方法は全てマークシート方式による選択問題。 |

### 3 新たなテキストの特徴

～理論だけではなく、幅広い実務でつかえる知識へ

- ・ビジネスや生活上で色が活用されている事例を幅広く掲載、図や写真でビジュアル化しよりわかりやすく、学びやすくしています。

（服飾、スポーツグッズ、化粧品、チラシ、グラフィック、建築、インテリア、店舗等）

### 4 認定講師制度について

カラーコーディネーター検定認定講師の方につきましては、別途、郵送にて、直接ご案内をさせていただきます。

## ■Q&A

Q いつから新内容での試験になりますか

A 2020年6月の試験よりスタンダードクラス、アドバンスクラスの試験となります。

Q 新内容の受験料はいくらですか

A スタンダード 5,000円(税抜)、アドバンス 7,000円(税抜)です

Q 試験の方式は変わりますか

A スタンダードクラス、アドバンスクラスとも100点満点として70点以上で合格、マークシート方式。制限時間は2時間です

Q 新内容のテキストはいつ頃発刊しますか

A 2019年11月頃を予定しています。

Q カラーコーディネーター検定2級公式テキストを持っているのですがカラーコーディネーター検定アドバンスクラスに対応していますか

A アドバンス試験は、アドバンスクラス公式テキストから出題されるため対応していません。スタンダードも同様です。

Q カラーコーディネーター検定2級試験の合格者ですが、内容変更後もカラーコーディネーター検定2級の称号は使えるのですか

A 使えます。試験制度は変更となりますが、2級試験合格の事実は変わらないためです。1級各分野、3級も同様です。

Q カラーコーディネーター検定2級試験の合格者ですがカラーコーディネーター検定アドバンスクラスを名乗ることはできますか

A アドバンスクラスと2級は出題範囲が異なるため、他級の合格者の方がアドバンスクラスを名乗ることはできません

Q 認定講師制度はなくなるのですか

A 内容変更に伴い、2019年1月をもって2級及び3級の認定講師養成講座と認定更新講座を終了させていただきますが、認定講師の資格は、お手元の認定書の記載通りの期間中認められます

(2019年1月の更新講座を受講された方もこれからお手元に届けられる認定書の記載通りの期間認められます。また、東商検定HPに掲載されている認定講師の方は、認定期間中は引き続き、掲載をさせていただきます)